



JA 営農支援事業

収量・品質の向上に向けた
生産技術の開発、普及によって
生産者をサポートします。



JA 営農を技術面から支援

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」のため、生産者に新しい品種や技術を提案しています。関係部署やJAと連携して、低コスト栽培技術の普及や、生産から販売まで一貫した栽培体系の提案にも取り組んでいます。



収量・品質の向上に向けたモノづくり

JA西日本営農技術センターを拠点として、農業者の所得増大のための生産技術の開発・普及と、消費者ニーズに対応した新たな農産物の栽培技術確立のため、2.2haの実験農場で試験的な生産・販売を行っています。また、安全・安心な農産物づくりのため、IPM(総合的病害虫管理)による化学農薬低減技術などの実証にも取り組んでいます。



JA 営農指導力向上に向けたヒトづくり

農産物の収量・品質の向上や消費者ニーズに対応した新たな農産物を生産するためには、その栽培に携わるヒトづくりが欠かせません。JA全農ひろしまでは、栽培指導や支援を行う「JA施肥アドバイザー」、「JA施肥マスター」の育成や水稻のコスト低減に向けた「鉄コーティング直播」研修など、JAグループの営農指導力強化を支援しています。また、新たな農業の担い手となる新規就農者の育成等も行っています。



「JA 西日本営農技術センター」での取り組み

「JA西日本営農技術センター」(東広島市河内町)では、増収や品質向上、品種比較などに関する栽培・実証試験を行っています。アスパラガスやトマトなどの主要野菜から、今後の野菜の消費動向を考えたサラダ向けの生食専用品種、2~3人の小家族でも消費しやすいミニ野菜などの珍しい品種まで30~40種類の野菜を試験的に栽培しています。



全農

JA全農ひろしま